

会 議 録

会 議 名	小金井市市史編さん委員会（令和3年度第2回）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和3年10月11日（月）午後2時から2時45分		
開 催 場 所	第二庁舎8階801会議室		
出 席 委 員	根岸茂夫委員長 牛米努委員 中嶋久人委員 井上恵美子委員 住野英進委員		
欠 席 委 員	日高慎委員 大熊雅士委員		
出 席 職 員	関生涯学習課長 小野文化財係主任 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 議 題</p> <p>(1) 令和4年度の事業計画について</p> <p>2 報 告</p> <p>(1) 「小金井市史年表・索引編」について</p> <p>(2) 「市史編纂資料第61編石造物調査報告(2)」について</p> <p>3 その他</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 小金井市史関連刊行物計画 (資料1)</p> <p>(2) 「市史編纂資料第61編石造物調査報告(2)」掲載候補一覧 (資料2)</p>		

会 議 結 果

関生涯学習課長	<p>ただいまから、令和3年度第2回市史編さん委員会を開催いたします。</p> <p>現在、緊急事態宣言は解除されましたが、東京都におけるリバウンド防止措置の期間中であることから、審議の時間については、長時間とならないような事務局運営に努めさせていただきたいと思っておりますので、現下の状況での開催につきまして、ご理解賜りたいと思っております。</p> <p>なお、本日日高委員よりご欠席とのご連絡を受けていますのでご報告いたします。</p> <p>議事進行につきましては、根岸委員長にお願いいたします。</p>
根岸委員長	<p>本日もよろしくお願いたします。</p> <p>お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>早速始めたいと思っております。</p> <p>それでは、「1 議題(1) 令和4年度の事業計画について」について、事務局の方からお願いします。</p>
高木主事(学芸員)	<p>1 議題</p> <p>(1) 令和4年度の事業計画について</p> <p>今後は、市民のニーズに合わせて、刊行物等を出していく、公開していくことが求められています。そのため、今後の課題は、市史編さん事業の蓄積を、市史編さんだけではなく、文化財保護事業にも共有・継承し、以て資料・文化財の活用を図ることです。市史編さん事業で調査・研究を行ってきた成果を、刊行物等に纏め、発刊する、このことは学校教育並びに生涯学習にとっても非常に役立てるものとして大事なことです。</p> <p>資料記載の通り、刊行物候補のような各分野からテーマに沿って作成していくことを予定しています。</p> <p>続いて、「3 刊行計画案」については、令和元年度において企画立案し、現在進めているところです。「(1) 前半」の事業計画においては、令和2年度から着手し、令和6年度までの5年間でどう進めていくか、ということが課題でした。実績として、「令和2年度 近世分野(石造物)」は、ブックレット「小金井の石造物」を、文化財保護事業の一環として作成いたしました。小金井市としては新たな試みとして、「小金井市文化財ブックレット1」というナンバリングを振ります。今後、「2」「3」という形で、様々なテーマに沿って発刊していくこととなります。シリーズ第一弾「小金井の石造物」は、令和3年4月から販売を開始しています。価格200円という手軽さもあって非常に好評をいただいております。全編カラー版で、小金井の石造物の特徴的な部分を紹介しております。これも全て、小金井市史編さんの成果によるものでございます。</p> <p>小金井市史編纂資料の中で、現在「石造物調査報告」を纏めているところですが、その成果の活用が1つ形になりました。</p>

	<p>続く令和3年度の計画は「小金井市史年表・索引編」で、こちらはまさに現在作成中です。</p> <p>以上のような形で、令和2年度、令和3年度と計画に沿って進めてきたところです。</p> <p>令和4年度以降は、計画案の中では、令和4年度は原始～中世分野を取り上げる形で計画案には載せています。いわゆる発掘調査の成果から見えてくる主に旧石器時代、縄文時代の小金井の様相を、『小金井市史』の「通史編」及び「資料編」の「考古・中世」を基礎データからもとにブックレット形式で紹介したい、というのが事務局の考えです。</p> <p>その後も令和5年度、令和6年度と、計画に沿って作成していくものです。</p> <p>引き続き、令和4年度の事業計画もご説明させていただきます。</p> <p>このように、今後も市史編さんから発信する情報・刊行物がございます。埋もれている資料がまだまだあり、整理・研究も未だ進んでいないところもございます。現在、事務局とともに、専門的な調査・研究をお願いしている調査員を1名、委嘱しております。さらに、地域に精通した市民を、市民協力員という形で2名、委嘱しております。現在このような体制で市史編さん事業のための基礎資料の収集を図っているところです。まさにこのような体制があるからこそ様々な資料の収集・研究を進めることができますので、令和4年度に向けて、今後もこの体制を確保・維持してまいりたいと考えております。調査員は現状1名体制ですので、作業量の調整の観点から、新たな調査員の確保も念頭に入れながら、より資料の収集・調査・研究の体制を強化していきたいと考えております。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料1「小金井市史関連刊行物計画」には令和11年度までの刊行予定が記載されていますが、今回の議題は「令和4年度の事業計画について」となっていますので、刊行物計画の令和5年度以降の内容については触れない、ということよろしいですか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>令和4年度の刊行予定としては「原始～中世分野（遺跡）」となっていますが、実作業としては「原始～中世分野（遺跡）」の編集作業に留まらず、令和5年度以降の刊行物の作成に向けた準備も当然ながら進めていかなければなりません。</p>
根岸委員長	<p>それでは、「小金井市史関連刊行物計画」全体については「3 その他」で扱うこととしますか？それとも、報告のみに留めておくこととしますか？</p>
関生涯学習課長	<p>事務的な面を申し上げますと、令和4年度の計画については、今後の令和4年度の予算編成に関わってくる、ということがございます。</p>

	<p>ただし今回、令和11年度までの長期的なロードマップをお示しさせていただいた中で、またご意見を伺っていきたい、ということもございます。</p> <p>これは、令和2年度に刊行した「小金井の石造物」が大変好評をいただいている中で、やはり多くの方に手に取っていただける、読んでいただけるものを刊行していくことが市としての責務と再確認した中で、その思いも込めて、やや詰め込み過ぎのきらいもある、という思いもありますが、今回このような計画の作成に至りましたので、またこの議題の中でご意見を伺っていきたい、と考えております。</p>
根岸委員長	<p>わかりました。</p> <p>それでは、この議題の中で資料1「小金井市史関連刊行物計画」全体についても取り扱っていくこととします。</p> <p>まず、令和4年度の計画としては、「原始～中世分野（遺跡）」のリーフレットを作成していきたい、という旨の提案がございました。</p> <p>資料1全体として、長期的な「刊行物計画」、今後どうしていくか、ということも含んでおりますので、その辺りでご意見、あるいはご質問等いかがでしょうか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>よろしいでしょうか？</p> <p>全体として、次々にこのようなものを刊行していく、ということはやらなければいけないと思いますし、これまで市史を作成してきた中で、それをいろいろな意味で発展させていく、という意味でも非常に重要であると思います。そういう中で、令和4年度については、個人的には事務局案の通りでよいのではないかと考えますが、令和5年度以降の刊行計画については、もう少し検討しなければいけないのではないかと、思います。</p> <p>特に気になるのが、もし令和5年度に「ダイジェスト版（仮）」を作成するとすれば、今から割り振りをしないと間に合わない、という状況ですので、「ダイジェスト版（仮）」を作成すること自体は大変重要なことだと思いますが、「通史編」を作成してから5年程度しか経っていない中で、どういう「ダイジェスト版（仮）」を作成するのか、多くの自治体では「ダイジェスト版（仮）」については、図録的な、ビジュアル的に見栄えのいいものを作成している、ということがありますので、単なる市史の「簡略版」に留まってしまおうとするならば、それは即ち市史の存在意義がなくなってしまう、ということになってしまいますし、どのような「ダイジェスト版（仮）」を作成していくのかについては、10年後くらいを目途に、じっくりと考えていく方がいいのではないかと、という気がしているのですが、その辺り皆さんいかがでしょうか？</p>

牛 米 委 員	<p>「ダイジェスト版（仮）」についてですが、何か具体的なイメージはありますか？これまで自治体史の作成に携わってきた経験から言わせていただくと、自治体史、特に通史編はとにかく分厚くなりがちですし、かつ、内容もかなり専門的なため、分かりにくい、というのはどうしてもあると思います。</p> <p>それを例えば先ほどご指摘のあった図録など、ページ数も絞り、かつ図版が多くて分かりやすいものをイメージするのか、或いは分厚い「通史編」を既に作成しているので、そこから項目を引き出し、短くコンパクトに纏めた、いわゆる本当の意味での「ダイジェスト版（仮）」をイメージするのか、その点だけでもかなり差があると思います。</p> <p>ですから、そういう意味でのイメージみたいなものを検討し、共有していくことが重要であると思います。</p> <p>それを行うことで、そこから先の「準備にどの程度の期間が必要なのか」ということも見えてくるのではないかと、思います。</p> <p>イメージについて、事務局に何か具体的な案はありますか？または、この委員会の場で議論していった方がよい、ということでしょうか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>ご指摘の通り、「小金井市史関連刊行物計画」には刊行物の具体的な情報は記載してございません。ページ数、構成等含めて今後の検討課題となっております。</p>
関生涯学習課長	<p>事務局といたしましても、細部の検討が手付かずの状況で、刊行年度だけが先に決まっている、というのは少し違ったのかな、と自省しているところで、刊行物の具体的なイメージが固まっていて、その先に年度計画を出すべきだったかな、と考えているところです。</p> <p>事務局としても、ご指摘をいただいた図録的な、ビジュアル的に見栄えのいいものにするのか、或いは「通史編」を短くコンパクトに纏めたものにするのか、それによって予算はもちろん、人員配置等も決まってくる大変重要な問題であると認識しておりますので、今はあくまで令和4年度以降の作成予定、その順番を示したものと捉えていただき、刊行物毎の具体的なイメージや、刊行年度等の詳細は今後の検討課題、とさせていただきます、と考えております。</p> <p>作成の順番につきましては、まず、「原始～中世分野（遺跡）」を作成し、その次に「ダイジェスト版（仮）」を作成したいと考えています。その次の「子ども市史」については、思いとしては同時進行でやりたい、という思いはございますが、さすがに同時進行にすると、あまりに大変な作業量になってしまいますので、作成の順番としてはこのような感じかな、と考えています。</p>
根 岸 委 員 長	<p>そうしますと、「小金井市史関連刊行物計画」につきましては、現時点で決定はしていない、ただし、令和4年度に「原始～中世分野（遺跡）」のリーフレットを作成する、ということだけは決めておく、ということ</p>

井上委員	<p>でよろしいでしょうか？</p> <p>「ダイジェスト版（仮）」を作成するとすれば、牛米委員からもご指摘をいただきましたが、まず計画をきちんと立てた上で考えていかなければならないと思いますし、「小金井市史関連刊行物計画」に掲載する前に、編集委員の中で十分に議論することも必要になると思いますので、是非よろしく願いできれば、と思います。</p> <p>現時点ではそのような整理でよろしいでしょうか？</p> <p>順番に様々な刊行物が発刊されていく、ということは大変素晴らしいことですし、それぞれが面白いな、と思っているのですが、ただ、「ダイジェスト版（仮）」については、単に「通史編」からピックアップするだけであれば、ある意味委員皆で割り振りを決めて作業することもできると思いますが、図録的なものを作成するのであれば、また編集委員の方々も一から考えなければならぬ部分も出てくると思うので、そういう意味ではなるべく早く、それなりの方向性を決めなければならぬだろう、と考えます。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。</p>
住野委員	<p>先ほど根岸委員長がおっしゃられたように、行政が何らかの計画を策定する際には、大体的場合ロードマップをしっかりと入れる、という形になっています。</p> <p>今皆様のお話を伺っていると、とりあえず令和4年度は「原始～中世分野（遺跡）」を作成する、ということは決まっていますが、令和5年度以降については、テーマ建てこそしているものの、実際にどのように進めていくのか、というその先の部分ははっきりとしていない、という状況ですので、やはり編集委員の皆様にご安心して取り組んでいただく意味でも、「いつまでに」「何を」「どこまでやる」ということをはっきりと入れた形で事務局として説明していかないと、ざっくりとした形で「これでいいですか」と言われても、委員の皆様も困ってしまうと思いますので、その点は事務局にしっかりとやっていただきたいところです。</p> <p>あと、私自身、東京都にいた際の経験からしますと、江戸時代から明治時代になって以降、現時点に至るまでの東京の都市計画の推移について調査を行った際、高々百数十年の期間でしたが、相当程度段階を分けての議論を行う必要があった、という部分と、同時に、その時はまちづくりをベースにした話であったため、雑誌「新建築」を発行している事業者に入ってもらい、交通整理を行った、という経緯がありました。</p> <p>そのような手法が取れるかどうか、という点もありますし、「いつまでに」「何を」「どこまでやる」ということにつきまして、事務局内部でしっかりと詰めさせていただきたいと思います。</p>

根岸委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>「ダイジェスト版（仮）」を作成するとすれば、一番大変なのは中嶋委員ではないか、と思うのですがいかがでしょうか？</p>
中嶋委員	<p>ほぼ皆さんが既におっしゃられた通りで、特に付け加えることはないかとも思いますが、「ダイジェスト版（仮）」を作成したい、という事務局の意向はわかりましたが、その先、どういうものを作成したいのか、という点が全く見えてこない、そのことを分かった上で「ではどのように作成するのか。」という話になる。</p> <p>「ダイジェスト版（仮）」を現状の「通史編」の原稿をただ短く要約しただけのものとするにしても、編さん委員会が少なからず関わらなければいけないと思いますので、そうすると当然時間もかかりますし、その時間を考えると、確かにこのスケジュール通りに進めるのは難しい、と思います。</p> <p>ただ、どのようなことをやるのかも全く分からないので、再度計画を出していただいて、もう1度考える、という形が妥当ではないかと思えます。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今委員の皆様からいただいたご意見を参考にさせていただきながら、事務局の方でも少し考えていただけたら、と思います。</p> <p>では、計画としましては、令和4年度に「原始～中世分野（遺跡）」を作成する、ということによりよろしくお願いいたします。</p>
根岸委員長	<p>それでは、「2 報告」に入ります。</p> <p>まずは「(1) 『小金井市史年表・索引編』について」について、事務局の方からお願いします。</p>
高木主事(学芸員)	<p>2 報告</p> <p>(1) 「小金井市史年表・索引編」について</p> <p>本報告につきましては、現在までの進捗状況の報告がメインとなります。現在、事務局において、原稿案の作成の大詰めの作業を行っているところです。この先11～12月頃において、印刷製本に係る契約締結を行う、という段取りで進めており、年度内の刊行を目指す、という部分は変わりございません。</p> <p>改めて「小金井市史年表・索引編」の体裁についてご説明させていただきます。</p> <p>本日、見本を持って参りましたが、大きさはA5版を想定しており、また、箱なし、外装も極力簡素化し、手に取りやすい、運びやすい形をとっています。全体のページ数は400ページで、内訳は年表に関わる部分は300ページ、索引編は100ページで、厚さは2cm程度となります。</p>

	<p>事務局では、今まさに「年表編」「索引編」の2つを1冊に収める作業を行っております。</p> <p>まず、「索引編」の方は、「通史編」から必要となるキーワードを、市史編さん委員会の委員の皆様にもご確認いただきながら、抜き出す作業を行い、現在は、五十音順に並べ直す作業を行っていますが、作業量が膨大であり、現在その途中段階にあるところです。</p> <p>一方、「年表編」の方もかなりの作業量となっており、編集委員会議にてより具体的な内容を調整させていただければ、と考えております。</p> <p>また、市史編さん委員会の全委員の皆様にも、「通史編」作成の際と同様、内容のご確認及び校正をお願いできれば、と考えております。適切な機会に皆様に資料を配布させていただき、一定期間の中で内容のご確認及び校正をお願いさせていただければ、と考えておりますので、その際にはご協力の程、よろしくお願いいたします。</p> <p>現在は印刷製本に係る契約手続を進めており、今後入稿までの間に、確認作業も合わせて進めているところです。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。本会議の後に編集委員会議も予定されている、とのことですが、現状の体裁とか、全体の内容について何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>よろしいでしょうか？ 体裁についてですが、カバーは付けないのでしょうか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>カバーなしの並製本で、表面加工のみとする予定です。</p>
根岸委員長	<p>「資料編」「通史編」と隣合わせて並べた際に、違和感がないよう、表紙を同系統の色合いにするとか、カバーを箱と同じクリーム色にして、カバーを外すと「資料編」「通史編」と同じ草色系統の中身が出てくる、といった工夫もあって良いのかな、という気もしますので、ご検討いただければ、と思います。</p> <p>他に何かいかがでしょうか？</p>
関生涯学習課長	<p>出来上がりに関しましては、根岸委員長からいただいたご意見も参考に、現在までの市史の流れも踏まえた中で、予算面と相談しながら考えて参りたいと思います。</p>
根岸委員長	<p>他に何かいかがでしょうか？よろしいでしょうか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>

根岸委員長	<p>それでは、「(2) 「市史編纂資料第61編石造物調査報告(2)」について」について、事務局の方からお願いします。</p>
高木主事(学芸員)	<p>進捗状況をご報告させていただきます。令和2年度は、「市史編纂資料第60編」において、「小金井市石造物調査報告(1)」を刊行しております。今回の石造物調査は調査点数が非常に多く、大きく2つに分けて報告する形を取っています。令和3年度は「小金井市石造物調査報告(2)」を刊行すべく、現在作成を進めております。</p> <p>少し補足させていただきますと、令和2年度に刊行した「小金井市石造物調査報告(1)」は、旧小金井村に相当する地域、現在で言いますと本町、中町、前原町の地域について収めました。「小金井市石造物調査報告(2)」は、それ以外の地域の貫井南町、貫井北町、関野町、梶野町、東町の地域を収める予定です。</p> <p>資料2は、「市史編纂資料第61編石造物調査報告(2)」の掲載候補一覧となり、計222点について報告する形となり、「報告(1)」と、「報告(2)」を合わせますと、合計約400点の石造物を網羅することとなります。1点1点写真に収め、刻まれている銘文についても記録しています。</p> <p>市内石造物の集成作業は、「石造物調査報告(2)」を以て一旦完了、という形を取っています。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>「小金井市石造物調査報告(2)」につきまして、何かご質問・ご意見等がございますか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>よろしいでしょうか？</p> <p>大変貴重な調査の成果であり、例えば「石造物調査報告(2)」の巻末に、「石造物調査報告(1)」に掲載したものも合わせた形で目録を作成して年代順に並べて、全体を見渡せるような一覧表を掲載しても良いのかな、と思ったのですが、その辺りいかがでしょうか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>「石造物調査報告(2)」の中に小金井市全体を見渡せるような一覧表のようなものは掲載していきたい、と考えています。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に何かいかがでしょうか？よろしいでしょうか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>それでは、「3 その他」について、事務局の方から何かございます</p>

高木主事(学芸員)	<p>か？</p> <p>3 その他 文化財センターでは「企画展『鴨下製糸場』」を行います。 鴨下製糸場は、20世紀において小金井市の近代史において特徴的な産業であった製糸産業の中心的存在でした。現在は既に廃業していますが、小金井市の近代史を語るうえでは欠かすことのできない工場となっています。 これまでの市史編さん事業において蓄積した資料とともに、新たに発見した、及びご寄贈をいただいた資料もございまして、それらを活用して特集展示を行いたい、という企画でございます。 近代史に留まらず、現代史にも関わる大きなテーマでございますので、是非ご覧いただければ、と思います。</p>
根岸委員長	<p>以上でよろしいでしょうか？ ありがとうございます。 委員の皆様の方から、全体についてのご意見ですとか、何かございますか？よろしいでしょうか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>それでは、「4 次回の会議日程」について、事務局の方からお願いします。</p>
小野文化財係主任	<p>令和3年度第3回市史編さん委員会につきましては、令和4年2～3月頃の開催を予定させていただいてございまして、まだ具体的な日には決まっておりません。 早急に委員の皆様と日程につきまして調整させていただき、日程が決まり次第、委員の皆様にご連絡を差し上げたいと考えています。 以上です。</p>
根岸委員長	<p>予定としては、月曜日の14時開会、ということでよろしいのでしょうか？</p>
小野文化財係主任	<p>はい。</p>
根岸委員長	<p>委員の皆様、その他何かございますか？よろしいでしょうか？</p>
関生涯学習課長	<p>最後になりますが、委員の欠席につきまして、本日大熊委員も欠席となってございました。冒頭ご報告が漏れており大変申し訳ございませんでした。</p>

根岸委員長

以上で、会議を終了します。ありがとうございました。

--	--